



福井県DX推進本部 令和4年度第1回本部会議

令和4年4月25日

次第

- 1. 本部長 挨拶**
- 2. 令和3年度の振り返りと
今後の取組み方針**
- 3. 県民向けサービス連携基盤の紹介**
- 4. 各部局からの報告**

1. 本部長挨拶

福井県知事 杉本 達治

2. 令和3年度の振り返りと 今後の取組み方針

D X 推進監 米倉 広毅

01 令和3年度の振り返り (総論)

地方の実情

県民・市町・産業にて
お悩みの方多数

- ✓ DXとは何か
- ✓ 何がどう変わるか
- ✓ どう進めるか

生活の質が高い故
変化の必要性感じない

都市部との環境格差

デジタルサービスの

- ✓ 提供状況
- ✓ 利用環境

都市部への
デジタル人材偏在

(水面の上)
**利便が実感できる
デジタルの取組**

両面から取組



(水面下)
**全県挙げた
DX遂行を支える
土台・仕組み作り**

肚落ち
機運醸成

業務遂行に向けた基盤整備
(各部局専門知識×デジタル推進)

県民生活密着型サービスの先行提供

- コロナ対策・地域課題対応・デバイド/産業支援
- ✓ 豪雪地帯 ▶ 除雪・道路情報可視化
 - ✓ 車社会・交通事故多発 ▶ 危険区域可視化 等

機動的な事業化

DX事業の期中拡大
(47▶62事業)

- **方針策定**
 - ✓ ビジョン・行動規範・DX政策集
- **推進体制整備**
 - ✓ CDO配置・推進組織再編
 - ✓ 意思決定機関 (トップダウン)
 - ✓ 現場実行体制 (ボトムアップ+自走仕組み化)
- **意識変革**
 - ✓ 知事率先垂範・CDO全庁研修
- **人材育成確保**
 - ✓ 研修体系整備 (座学・実践・伴走型の3層)
 - ✓ 職員採用DX枠創設・兼業型委嘱制度導入
- **デジタルシフトを促す制度設計**
 - ✓ 予算編成重点枠新設・ペーパーレス制度導入
- **情報システム整備**
 - ✓ クラウド基盤・相談受付体制・取組可視化

- **機運醸成**
 - ✓ CDO研修
 - ✓ 出前講座
- **取組共有**
 - ✓ 県市町共同ワークショップ
 - ✓ 産業団体との共同研究
- **共同PJ実施**
 - ✓ DX事業
 - ✓ シビックテック
 - ✓ システム共同利用

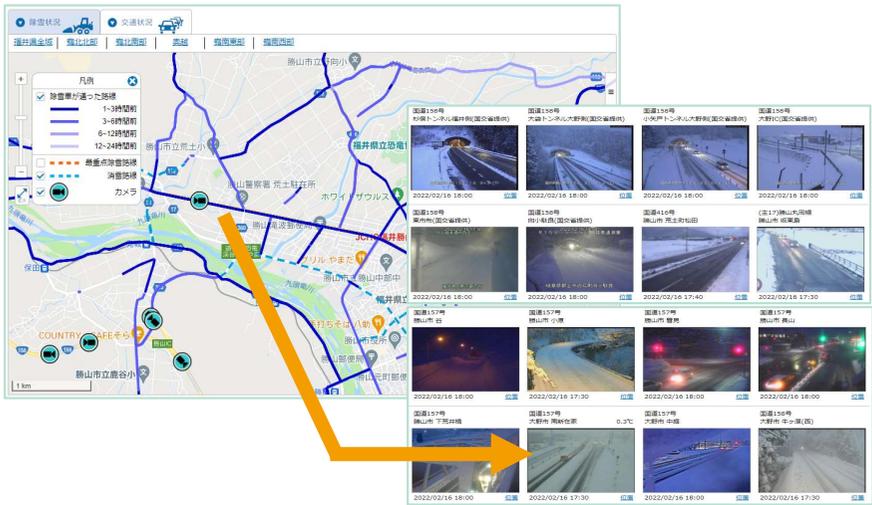
市町・産業との連携

県

02 令和3年度の振り返り (県民からの評価①)

「県民目線・生活密着型」の課題解決

大雪対策DX (全国初)
時系列での除雪状況可視化・カメラ映像等表示



- アクセス数が、昨年比約3倍* *同程度の降雪量時期比較
- 県民から多くの感謝の声 (こういうものが欲しかった)

交通安全対策DX (SCX)
隠れた危険エリア見える化



地域の学校や企業等、36団体454名協力



リアルな運転挙動
データ取得・分析



- 学校長からも歓迎 (安全マップ)
- 今後、学校とさらなるデータ利活用方法等を検討

03 令和3年度の振り返り (県民からの評価②)

「県民目線・県民ニーズ」による再デザイン

わかりやすい情報発信

HP解析による県民ニーズに即した情報発信



- 83%の方が、改善後ページでの情報入手が容易と評価
- 県の訴求したい情報（注目情報）に、約10倍のアクセス

政策検討への県民参加

ご意見を傾聴する意見交換の場を実証運用



- 83の県民提案を受領、うち4件即改善・6件を対応検討（QRコードを用いた簡便なイベント参加登録等）
- 今後、民間団体との運営・ハッカソンでの改善を予定

04 令和3年度の振り返り (県民からの評価③)

「県民参加型」で取組み

シビックテック

現場首長・関係者・Code for Fukui等と協働

「自治会活性化」ハッカソン 福井市共催 (殿下地区)



- スマホでなくテレビを用いた、情報連絡・状況確認サービスを即日開発
- 福井市が、継続的に地域住民と意見交換を重ね、出前講座や自治会活動DXに取り組む中

限界集落への物流DX

ドローン+陸送のハイブリッド型物流実証

敦賀市愛発地区 ドローン物流



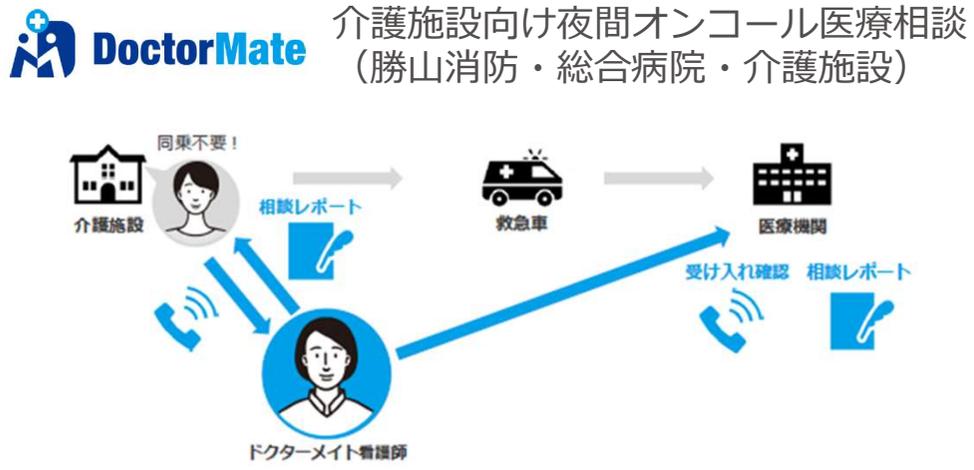
- 敦賀市では、今年度中の実装を予定
- 県内他市町における活用可能性について検討中

05 令和3年度の振り返り (県民からの評価④)

「民間・スタートアップ等」と協業

未来技術活用PJ (6件)
民間スタートアップ等協業による地域課題解決

コロナ対策DX (福井モデル)
オペレーション自動化・オンライン診療等



	あわら市	勝山市	大野市
坂井市	福井市	永平町	池田町
越前町	越前市	越前町	越前町
高浜町	若狭町	実業町	敦賀市



ワクチン
接種予約状況可視化
接種予約システム
(ローコード内製)



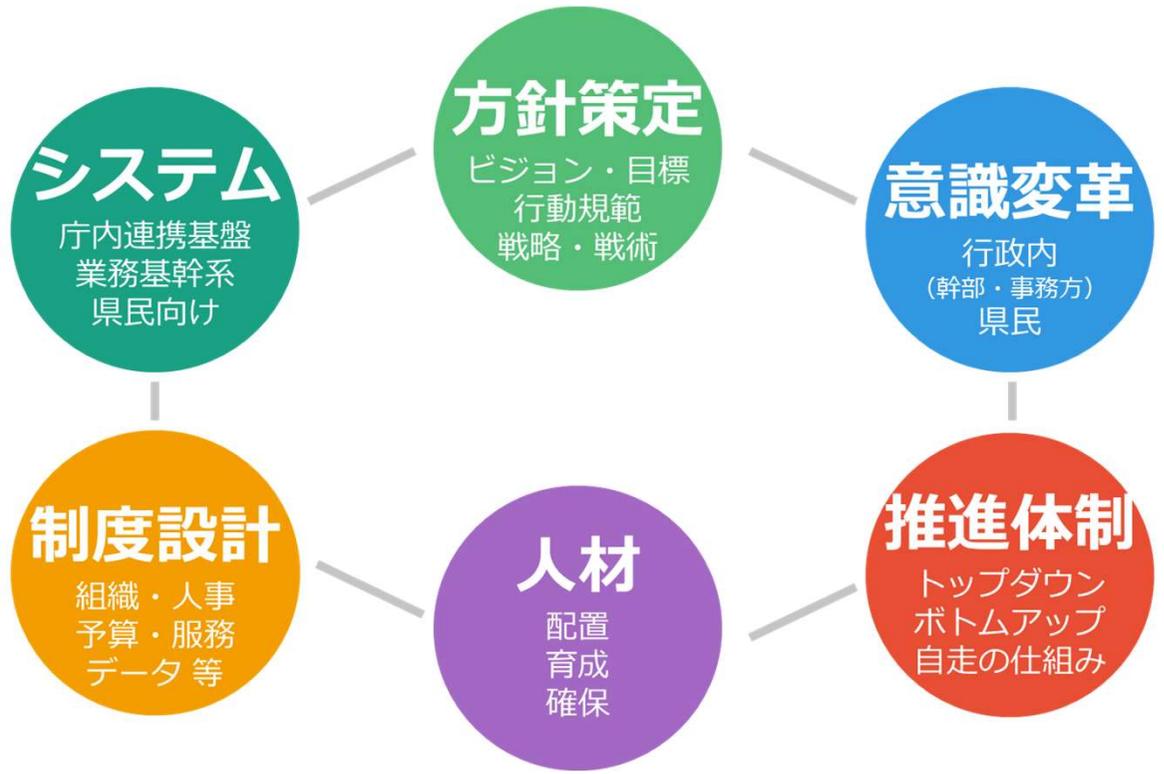
TV電話等活用の健康観察
オンライン診療・薬配送

- 夜勤介護士の同乗を要する「とりあえず搬送」が▲9割
- 消防・病院との情報共有により、救急搬送時間も短縮
- 勝山市は取組継続 (実装)、今年度の実証横展開 (福井市等)

- 民間技術者 (Code for Fukui等) と協働してシステム開発
- 令和4年度、へき地オンライン診療を実証
- 保健所等の業務改善DXに取組み (患者症例聞き取り)

06 令和3年度の振り返り (推進体制構築)

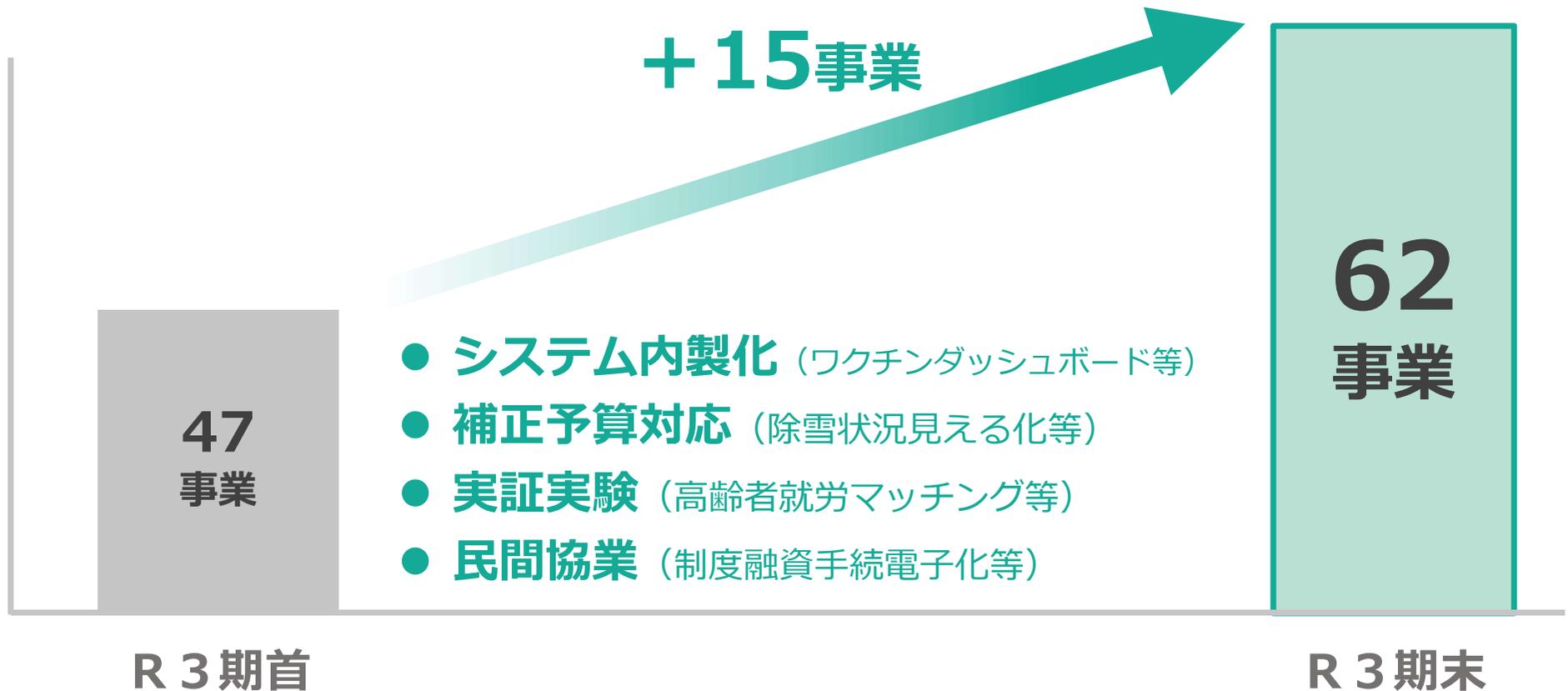
D X 遂行を支える土台・仕組み作り



- **D Xプログラム** 制定
(ビジョン・行動規範・方針・政策)
- **研修・セミナー** シリーズ 累次開催
(CDO・補佐官：県全庁・市町・県民向け)
- **D X推進本部** 設置
(トップダウン：意思決定機関)
- **D Xリーダー** 組織
(ボトムアップ：現場実行体制)
- **研修体系** 整備
(座学・ハンズオン・伴走の3層型)
- **採用制度等** 新設
(D Xアピール枠・CDO補佐官委嘱)
- **デジタルシフト制度** 導入
(ペーパーレス・予算編成重点枠)
- **情報システム** 整備
(クラウド基盤・相談受付体制・取組可視化)
- **市町ワークショップ** 実行
(市町の計画策定・体制整備・事業執行を支援)

07 令和3年度の振り返り (取組みの拡大)

D X事業は期中に大幅に拡大



08 令和3年度の振り返り (取組みの浸透)

現場での業務改善・意識変革が進展

全庁RPAキャンプ
年間1万時間削減

職員によるシステム内製化
約30の自発的取組み



RPA作ってみた～財務会計システム～
2021/06/04に 向川 友博 が公開しました
会社 352 @ 7♡
RPAソフトを使って、財務会計システムの自動入力を作成しました。

検索条件解除 感染防止徹底宣言店舗一覧 令和4年2月17日 15時現在情報 試行版

市町で検索
あわらし市 越前市 坂井市 勝山市 池田町 美浜町
おおい町 越前町 鯖江市 小浜市 敦賀市 福井市
永平寺町 高浜町 若狭町 大野市 南越前町

業種で検索
すべて

施設・店舗名で検索
Search

感染防止徹底宣言店舗数
17.12K

※今回は試用版として、東京大学CSISシンプルジョーディング実験による地図情報を活用しています。

施設・店舗名	店舗種別	所在地
haru	美容室	福井県坂井市坂井市春江町江留中39-11-1
HOTEL NEXT RESO GRAND	ホテル	福井県福井市順化2丁目6-4
SET-ONE	衣料小売り	福井県福井市中央1丁目15-1
yellow2	カレー屋	福井県福井市灯明寺3-201
株式会社 建世	建設業	福井県大野市春日3丁目20-7
看護小規模多機能型居宅介護	デイホームかり	福井県坂井市春江町本堂27-1-1
保険のたけうち株式会社	保険会社	福井県福井市下馬3丁目1302 three8 2F



〇〇〇〇来場者登録サイト
～福井県～

来場ありがとうございます。
新型コロナウイルス感染症対策として、来場者の方に氏名・連絡先等の登録をお願いしております。
入力フォームから登録をお願いいたします。

名前 (例: 福井太郎) *

福井太郎

電話番号 (例: 0776200001) 数字のみで入力してください。 *

0776-20-0001

同行者数 (選択してください) *

4

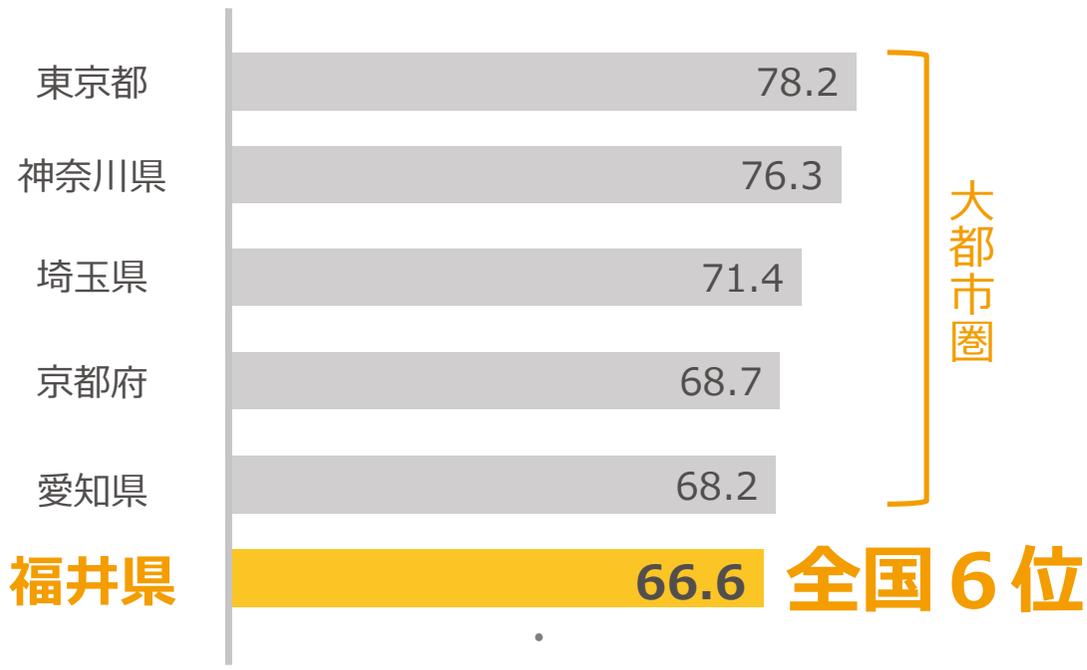
県民への「感染防止対策店舗」情報表示

QRコード読取式
来場者管理システム

09 令和3年度の振り返り (外部機関による評価)

都道府県別デジタル度 (野村総合研究所：全都道府県対象)

大都市圏に次ぐ全国6位の評価



(出典) 野村総合研究所
「DCIにみる都道府県別デジタル度」(2021.11)

自治体DXアワード (日本経済新聞社：全国自治体対象)

DXリード部門賞受賞

他自治体の手本となるような
全庁的なマネジメント体制の構築等



(出典) 日本経済新聞 (2022.4.4朝刊)

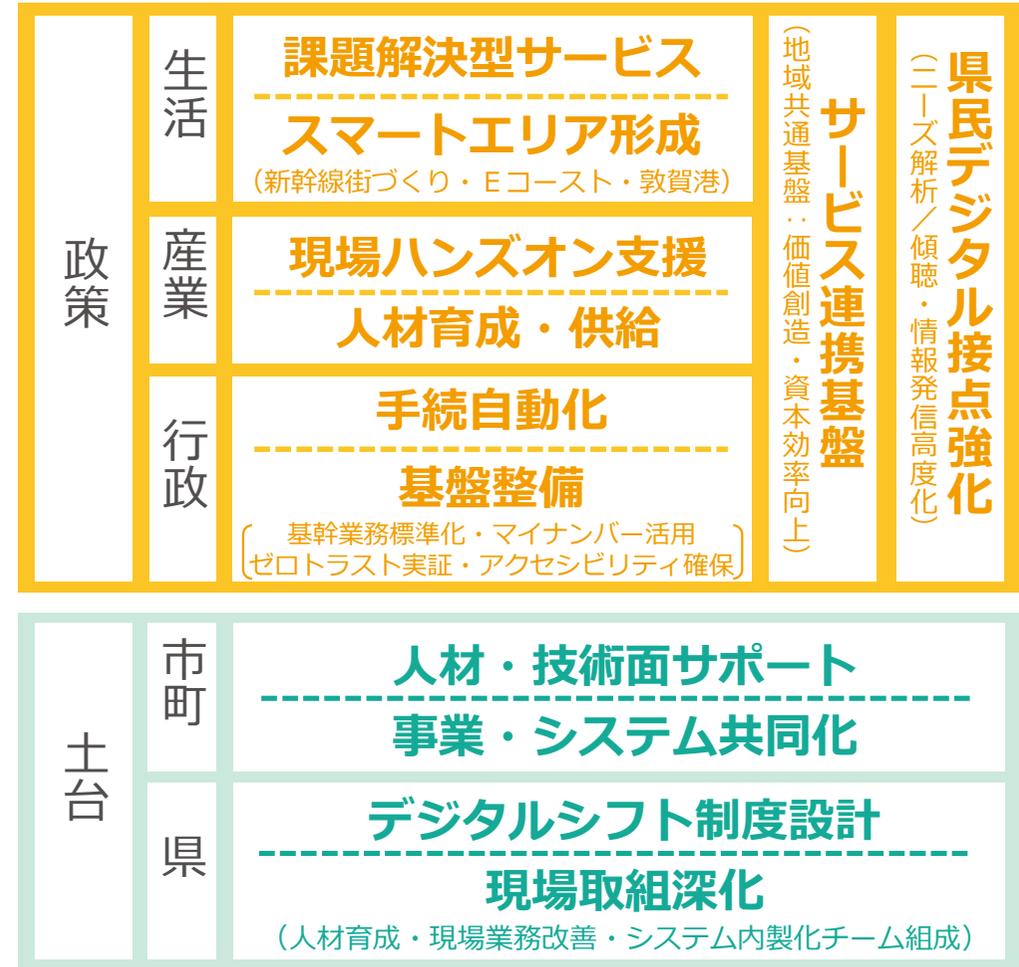
10 今後の取組み方針

政策	生活	利便実感の取組 先行実施
	産業	企業の前向きな 取組を支援
	行政	ペーパーレス システム内製化
土台	市町	県取組共有 共同事業
	県	仕組み作り 1組織1取組

これまで



考慮すべき変化



R4年度～

スマートふくいを実現

11 令和4年度の取組み

D X事業の拡大・深化

- 当初予算編成方針
「D X推進によるポストコロナの社会作り」
- 昨年度比×約1.5倍の事業数
(30の新規・拡充事業：方針に基づき各部事業化)

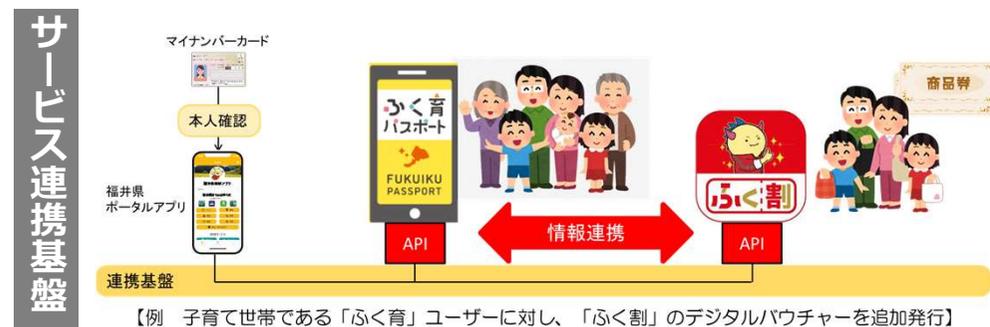


- ペーパーレス徹底 (働き方改革)

▶ **D XプログラムVer2として策定**
(目指す方向性と具体的政策をセットで提示)

先進的取組みの推進

- 国「デジタル田園都市」12事業採択
(県3事業・6市町9事業：北陸3県では最多)
- 全国的にも先進的な事業推進



- ✓ へき地オンライン診療・在宅医療情報共有基盤
- ✓ 林業D X (航空レーザー継続・森林データ共有等)
- ✓ 観光デジタルマーケティング 等々
- 全庁チーム制での現場改善推進
(人材育成モデル構築・内製化含む業務改善)

3. 県民向けサービス連携基盤の紹介

01 県民向けサービス連携基盤とは

サービス間のデータ連携を簡易に実現するプラットフォーム

- 汎用的な A P I（別システムとの連携窓口）により接続するため、低コスト・短期間で連携
- サービス間の個人特定は、マイナンバーカードを活用した公的個人認証を利用
- 様々なシステムに分散したデータを必要な時に参照できるようにする仕組み



まずは、子育て世帯である「ふく育」ユーザーに対し、「ふく割」のデジタルバウチャーを追加発行

02 県民から見た利用イメージ (統合アプリ)

サービスの入口統合機能

(連携サービスに簡単にアクセスできる環境を整備)



個人情報の管理機能

(利用者自身が個人情報の提供可否・連携サービスを設定)

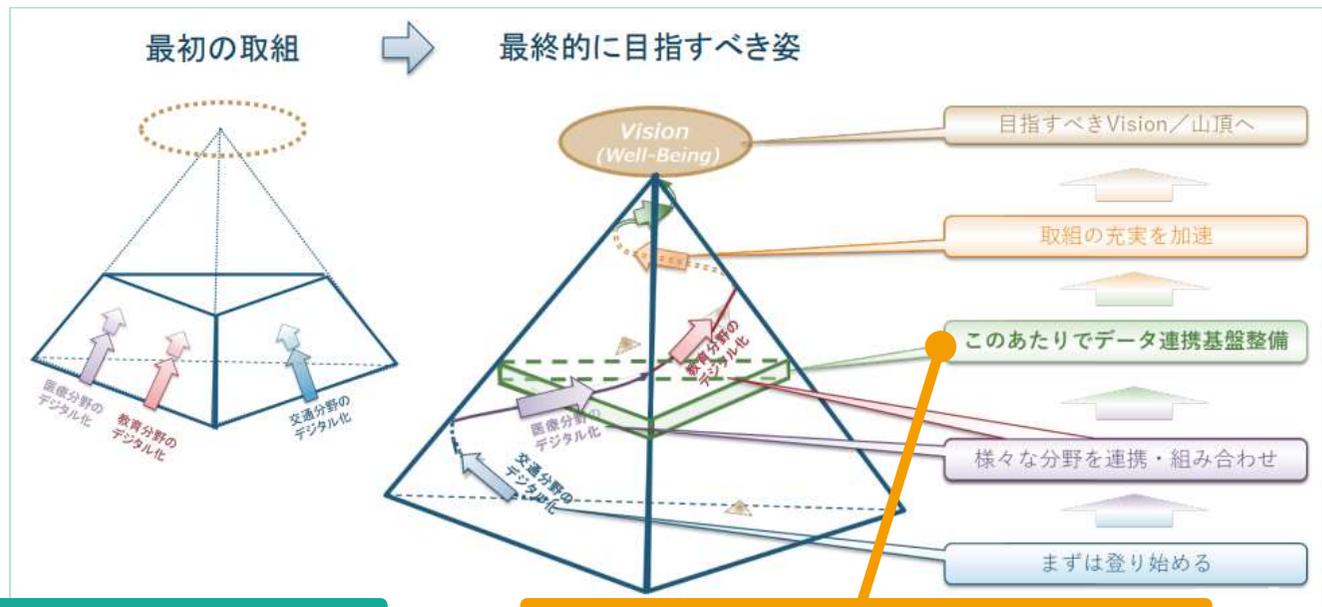


OFF/ONで切替え

03 国における動き (デジタル田園都市国家構想)

国も、データの活用を促す「連携基盤」の整備を構想

データの「創成」→「連携」→「活用」のサイクルの好循環が必要



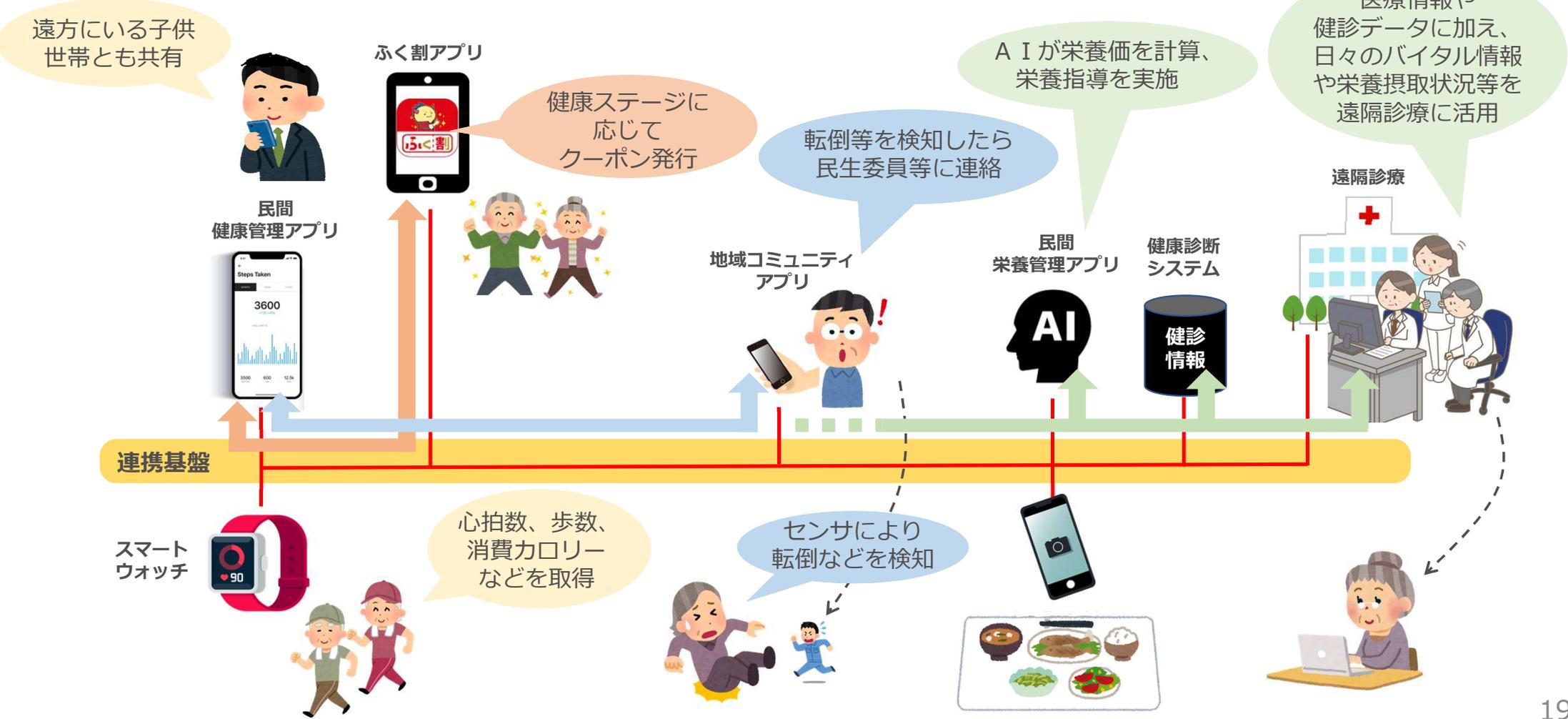
スターター
まずはデジタルの効果を実感できる
サービスを地域・暮らしに実装

プレイヤー・リーダー
データ連携基盤を活用し
複数のサービスの連携にも取り組む

デジタル庁
「意欲のある自治体に
是非チャレンジして欲しい」

04 サービス連携基盤の活用イメージ

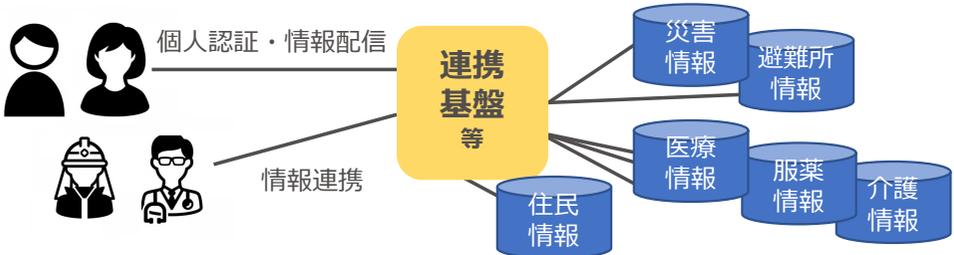
公民連携での健康なまちづくり



05 先行取組み例①

防災（つくば市*） *構想段階

効率的な避難誘導と医療消防連携



- 住民に対して一元的に情報配信（災害情報・避難所情報・ボランティア情報等）
- 消防・医療等関係者に対して、データ連携（要支援者情報や被災者の健康情報等医療データ）

移動・交通（福島県会津地域）

観光・生活MaaS連携のサービス提供



- 様々な交通モードの情報を連携、スマホひとつで検索、決済、利用が可能
- 経路検索と付帯して、観光や生活情報等（異業種連携商品）が入手可能
- 他地域のMaaSアプリとも連携

06 先行取組み例②

健康福祉（札幌市）

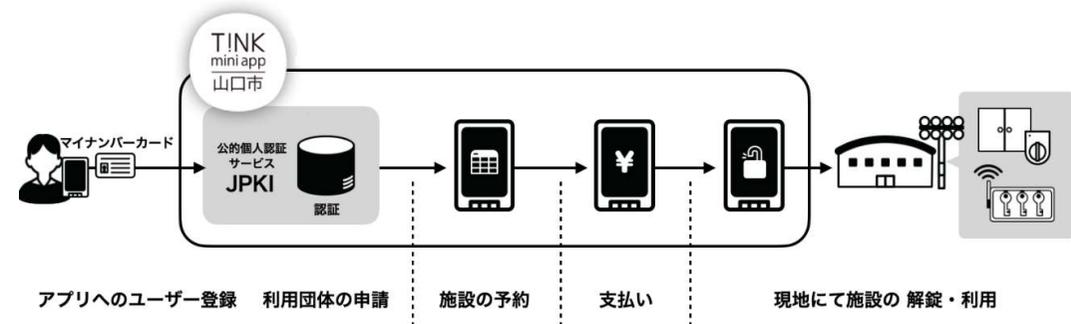
ポイント付与による健康促進



- 歩数に応じて公共交通等で使える「健幸ポイント」付与
- 歩行促進や公共交通利用等の行動変容を促進
- 行動データ（歩数・位置情報）、人流データを分析し、ウォークアブルな空間整備計画をまちづくりの検討に反映

施設管理（山口県）

施設予約と連動したスマートロック



- マイナンバーカードを用いて個人認証
- 公共施設の利用管理を24時間オンラインで完結（本人確認・施設予約・決済・開錠・入退室管理）

4. 各部局からの報告 (重点取組み事項)

01

総務部 (DX推進プログラム P66)

デジタル県庁の実現



施策の概要

■ 概要

ニューノーマルに対応するため、デジタルツール導入、ネットワーク環境の整備を行い、県庁の働き方改革、県民サービスの向上を図る。

■ 期待される効果

- ・ 県庁の働き方改革の推進
- ・ 県民サービスの向上

■ 内容

- ① AI・RPA技術を活用した事務処理の効率化 (DX推進課)
- ② テレワーク環境の維持 (DX推進課)
- ③ モバイルワーク端末の利用環境運用 (DX推進課)
- ④ 電子決裁・文書管理システムの運用 (情報公開・法制課)
- ⑤ 電子申請の拡充 (DX推進課)
(押印の廃止、ペーパーレス、ワンスオンリーの徹底)
- ⑥ 行政事務のペーパーレス化 (人事課)

■ スケジュール

- R元年度～① R2年度～②③
- R3年度～④⑤⑥



■ 連携先企業

日本マイクロソフト株式会社、IT企業 等

■ 予算額等

- 105,804千円 (R4 当初) (DX推進課)
- 38,360千円 (R4 当初) (情報公開・法制課)
- 50,745千円 (R3 2月補正) (人事課)

■ 担当部局

総務部人事課、情報公開・法制課、
地域戦略部 DX推進課

02 地域戦略部 (DX推進プログラム P66)

デジタル県庁の実現

DXカテゴリー
3 6 7
行政のDX
スマート×県庁

施策の概要

■ 概要

ニューノーマルに対応するため、デジタルツール導入、ネットワーク環境の整備を行い、県庁の働き方改革、県民サービスの向上を図る。

■ 期待される効果

- ・ 県庁の働き方改革の推進
- ・ 県民サービスの向上

■ 内容

- ① AI・RPA技術を活用した事務処理の効率化 (DX推進課)
- ② テレワーク環境の維持 (DX推進課)
- ③ モバイルワーク端末の利用環境運用 (DX推進課)
- ④ 電子決裁・文書管理システムの運用 (情報公開・法制課)
- ⑤ 電子申請の拡充 (DX推進課)
(押印の廃止、ペーパーレス、ワンスオンリーの徹底)
- ⑥ 行政事務のペーパーレス化 (人事課)

■ スケジュール

- R元年度～① R2年度～②③
- R3年度～④⑤⑥



■ 連携先企業

日本マイクロソフト株式会社、IT企業 等

■ 予算額等

- 105,804千円 (R4 当初) (DX推進課)
- 38,360千円 (R4 当初) (情報公開・法制課)
- 50,745千円 (R3 2月補正) (人事課)

■ 担当部局

総務部人事課、情報公開・法制課、
地域戦略部 DX推進課

03 交流文化部 (DX推進プログラム P61)

一乗谷朝倉氏遺跡でのバーチャル体験

文化課HP <https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/bunshin/jigyou.html>

DXカテゴリ

②⑤

産業のDX
スマート×観光

施策の概要

■ 概要

一乗谷朝倉氏遺跡内の無料Wi-Fiを活用し、ARやVRなどの最新技術による遺跡の案内を実施する。

■ 期待される効果

- ・ 歴史知識のない来訪者への魅力的な体験の提供
- ・ 若者層の来訪者の増加

■ 内容

一乗谷朝倉氏遺跡の受入環境整備支援

- ・ 遺跡内の無料Wi-Fiの整備
- ・ AR等最新技術による遺跡案内

JR越美北線（福井駅～一乗谷駅）の魅力向上

- ・ 遺跡へ向かう乗客が楽しめるAR等の提供

■ スケジュール

- R3年度 無料Wi-Fi整備、AR制作等
- R4年度 10月までに来訪者へコンテンツを提供
- R5年度 拡充予定



■ 事業主体、連携先企業

(事業主体) 一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会、
交流文化部文化・スポーツ局文化課
(連携先企業) 株式会社NTTドコモ、
三谷コンピュータ・福井新聞社・凸版印刷共同企業体、
福井テレビジョン放送株式会社

■ 予算額等

8,000千円(うちDX関連経費5,000千円) (R4当初)
14,938千円 (R4当初)

■ 担当部局

交流文化部文化・スポーツ局文化課

04

安全環境部 (DX推進プログラム P34)

SNSを活用した避難所の利便性向上

DXカテゴリ

①⑤⑥

生活のDX
スマート×防災

施策の概要

■ 概要

災害発生時に、SNS等による避難者受付を行うことにより、入所手続きの簡略化、避難者ニーズに応じた情報発信等、避難所の利便性向上を目指す。

■ 期待される効果

- ・ 避難者情報の正確かつ迅速な把握
- ・ 避難者向け情報発信の充実

■ 内容

避難者受付業務の簡略化

- ・ QRコード、スキャナを活用し、避難者情報の入力・集約作業を自動化

避難者ニーズに応じた情報発信

- ・ SNSで避難所ごとに避難生活に関する情報発信

■ スケジュール

R4年4月 本格運用開始

運用イメージ

時間をかけずに避難所に入れます



- 避難所受付等でQRコードを読み込み
- QRコードから入力フォームにアクセスし、氏名、年齢、健康状態、家族等の情報入力

※外国語(13か国語)にも対応します

スマホがなくても大丈夫、受付シートをスキャナで読み込みます



避難生活に関する様々な情報を受け取れます



- 避難所の生活情報(食事時間、物資配給等)を入手

※車中泊避難者、在宅避難者も受信できます

■ 連携先団体・企業

県内市町、自治会など避難所運営者

■ 予算額等

災害情報インターネットシステム運用保守
38,588千円 (R4当初)

■ 担当部局

安全環境部危機対策・防災課

05 健康福祉部 (DX推進プログラム P21)

へき地におけるオンライン診療の実証

DXカテゴリ
①⑤

生活のDX
スマート×医療

施策の概要

■ 概要

患者が住み慣れた地域で質の高い医療を受けられるよう、予約、問診、診察、会計の一連の機能を備えるオンライン診療システムを活用し、活用場面や有効性の実証を行う。

■ 期待される効果

- ・へき地における医療提供体制の強化

■ 内容

へき地におけるオンライン診療の実証

- ・定期的に診察・薬の処方が必要な生活習慣病患者等に対して、へき地診療所の医師がオンライン診療を実施
- ・在宅患者への訪問看護時に、医師の判断が必要な場面でオンライン診療を実施
- ・へき地医療拠点病院の専門医等が、へき地診療所での診療をオンラインで支援

■ スケジュール

R4年度から県内のへき地において実証事業を開始

▼ オンライン診療 (イメージ)



■ 補助対象者、連携先企業

- へき地医療拠点病院
- IT事業者

■ 予算額等

5,792千円 (R4 当初)

■ 担当部局

健康福祉部地域医療課

06

産業労働部 (DX推進プログラム P45)

県内企業のDX推進

(公財) ふくい産業支援センターHP <https://www.fisc.jp/dx-open/>

DXカテゴリー	産業のDX スマート×企業
②	

施策の概要

■ 概要

県内企業のデジタル技術の導入促進やデジタル化のレベルアップを図り、ビジネスモデル等の変革を目指すことで、県内企業のDXを推進する。

■ 期待される効果

- ・ 県内企業の業務効率化、付加価値の向上

■ 内容

DX推進体制の整備

- ・ DXオープンラボにおいて、DX推進チームによる相談窓口や先例事例の紹介、専門家派遣を実施
- ・ 外国人IT人材受入のためのモデル的な雇用
- ・ 支援機関と連携し、相談の窓口を広げ、DXに取り組む上での情報提供を実施
- ・ 専門家チームによる伴走支援を実施

デジタル技術導入に対する資金的支援

- ・ 企業のデジタル技術導入に対する資金的支援

■ スケジュール

R3～ DXオープンラボ、5G Base FUKUIの開設
 R4～ 支援機関連携強化、伴走支援によるモデル企業創出

■ 支援体制の強化



DX戦略アドバイザー



DX推進チーム

■ 事業主体、連携先

(事業主体) (公財) ふくい産業支援センター
 (連携先) (一社) 福井県情報システム工業会 等

■ 予算額等

134,070千円 (R4 当初)

■ 担当部局

産業労働部創業・経営課

07 農林水産部 (DX推進プログラム P58)

林業DX推進対策事業

DXカテゴリ
②⑦

産業のDX
スマート×林業

施策の概要

■ 概要

精度の高い森林情報の共有・活用により施業地確保等の省力化を行うとともに、林内通信網の整備を検証し、就労環境を改善する。

■ 期待される効果

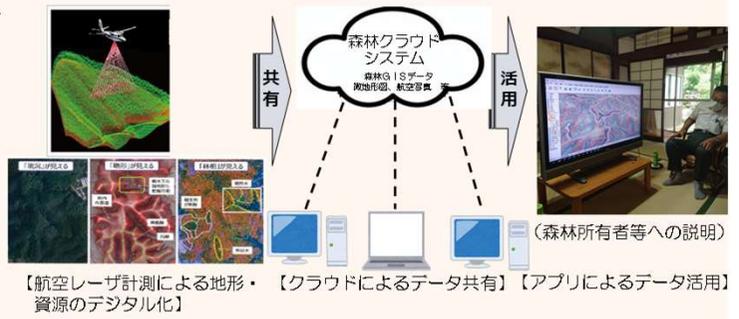
林業事業者による施業地確保が加速することにより、事業規模が拡大、県産材生産量が増加

■ 内容

- 航空レーザ計測による地形・資源のデジタル化
- 森林クラウドシステムの導入
- 林業事業者に対するDXアプリ導入の支援
- 林内通信網整備の検証

■ スケジュール

- R元年度～ 航空レーザ計測による地形・資源のデジタル化
- R4年度 森林クラウドシステム導入
DXアプリ導入支援（～R7年度）
林内通信網の検証および整備（～R8年度）



■ 事業主体

県、林業事業者

■ 予算額等

233,411千円 (R4 当初)

■ 担当部局

農林水産部県産材活用課、森づくり課

08 土木部 (DX推進プログラム P36)

除雪状況の「見える化」の推進

みち情報ネットふくい <https://www.hozen.pref.fukui.lg.jp/hozen/yuki/>

DXカテゴリー
①⑤⑥

生活のDX
スマート×防災

施策の概要

■概要

県のホームページ「みち情報ネットふくい」で除雪状況や最重点除雪路線、消雪路線等を公表し、除雪状況の「見える化」を推進する。

■期待される効果

- ・ 県民への除雪に関する詳細な情報提供
- ・ 県・市町の除雪情報の連携

■内容

(1)「みち情報ネットふくい」での情報提供(R3)

- ・ 除雪車の走行軌跡
- ・ 最重点除雪路線および消雪路線
- ・ 渋滞情報

(2)市町の除雪車へのGPS端末導入の支援(R3~5)

(県は整備済。R3.6月補正で市町補助事業を新設)

(3)「みち情報ネットふくい」のスマホUI対応(R4)

■スケジュール

- R3.11 みち情報ネットふくいにて情報提供開始
(県管理道、6市道)
- R4.11 提供市町道を12市町に拡大、スマホUI対応開始



■事業主体

県・市町

■予算額等

- (2)12,287千円 (R4当初)
- (3)2,200千円 (R4 当初)

■担当部局

土木部道路保全課

09 会計局 (DX推進プログラム P67)

財務会計事務におけるDX推進

DXカテゴリー
3 6 7

行政のDX
スマート×県庁

施策の概要

■ 概要

デジタル時代にふさわしい財務会計事務へと見直すための新システムを導入する。

■ 期待される効果

- ・ 効率的な財務会計事務の推進
- ・ 手数料のキャッシュレス決済の促進

■ 内容

財務会計システム構築に係る業務改革

- ・ 財務会計事務の見直し（簡素化・合理化）
- ・ AI等の新技術の活用を検討
- ・ 効率的かつ効果の高い新システム導入を推進

手数料納付システムの稼働

- ・ 納付方法の多様化への対応（コンビニ決済・クレジットカード決済の導入）
- ・ 手数料収納状況のデータベース化（いつ、どこで、誰が、何を支払ったかリアルタイム確認）

■ スケジュール

- R 3 年 6 月～ 財務会計事務の見直し
- R 4 年 4 月～ 手数料納付システムの稼働

新財務システムへの業務改革



手数料納付システムの稼働



■ 連携先企業

IT企業 等

■ 予算額等

45,126千円 (R4年度)
※R5年度以降分については今後精査

■ 担当部局

会計局審査指導課

10 教育庁 (DX推進プログラム P40)

ICTを活用した 「引き出す・楽しむ教育」の推進

DXカテゴリー

①⑤⑥

生活のDX
スマート×教育

施策の概要

■概要

ICT機器を活用し、子どもの個性を「引き出す教育」、知的好奇心や探究心を持って学びを自ら進んで「楽しむ教育」を推進する。

■期待される効果

- ・個に応じた学びの場の充実
- ・児童生徒の主体的な学びの促進
- ・地域に貢献しようとする心の育成

■内容

公立小中学校において「引き出す・楽しむ教育」を実施

「ふくいわくわく学びWeb」を拡充

「ふるさと福井の魅カプレゼンテーション大会」の開催

「ふるさと福井CMコンテスト」の開催および作品を道の駅等で放映

「ふくいわくわくプログラミング教室」の実施

ICT活用研究グループへの支援

ICT関連の活動を行うクラブへの支援

「全国高校生プレゼン甲子園」の開催

県立学校に授業支援アプリを導入

高志中学校および特別支援学校（小・中）で学習者用デジタル教科書を活用

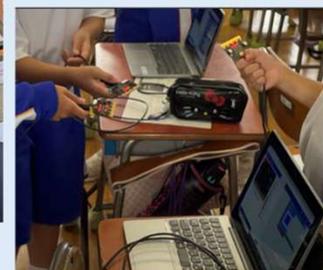
発達障がいのある児童生徒向けにソーシャルスキルトレーニング用ICT機器の導入

遺跡・遺物デジタルデータの活用

文化財修理・整備事業現場のオンライン公開

オンラインでの読書会やビブリオバトルなどによる

読書活動の推進



■スケジュール

R3年度より継続

■事業主体

県・市町教育委員会

■予算額等

1,002千円（R4 当初 「引き出す・楽しむ教育」実践に関する研修）

7,356千円（R4 当初 福井ふるさと教育推進に関する事業）

3,000千円（R4 当初 ICT関連研究グループ・クラブへの支援）

4,791千円（R4 当初 全国高校生プレゼン甲子園開催）

16,511千円（R3.2月補正 授業支援アプリ導入）

1,974千円（R3.2月補正 学習者用デジタル教科書導入）

913千円（R4 当初 特別支援教育機器導入）

■担当部局

教育庁教職員課、高校教育課、義務教育課、

生涯学習・文化財課

11

警察本部 (DX推進プログラム P82)

福井県警察におけるデジタル化の推進

DXカテゴリー

③⑦

行政のDX
スマート×警察

施策の概要

■ 概要

許認可事務や証明事務に係る申請等のオンライン・ノンコンタクト化に加え、電子決裁システムの導入等により県民の利便性向上と警察業務の合理化・効率化を図る。このほか、サイバーセキュリティ確保の機運醸成や県警内部における人材育成等によりサイバー空間の安全確保を推進する。

■ 期待される効果

- ・ 県民の利便性向上
- ・ 警察業務の合理化・効率化
- ・ サイバー空間の安全確保

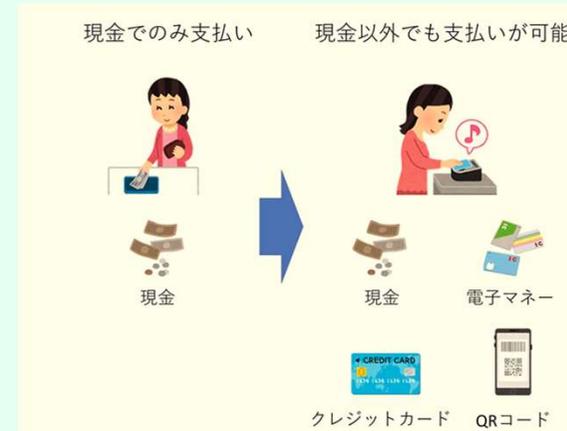
■ 主な内容

- ①申請手続オンライン化・ノンコンタクト化
- ②免許手数料納付の多様化（キャッシュレス納付）
- ③電子決裁システムの運用
- ④ポストコロナを見据えたDX推進（Web会議ネットワークの増設、部内イントラネット回線の増強）
- ⑤サイバーセキュリティの強化（官民一体のフォーラム開催等）

■ スケジュール

R2年度～① R4年度～②③④⑤

▼免許手数料納付の多様化（キャッシュレス決済）



■ 予算額等

- 5,289千円 (R3) (申請手続オンライン化)
- 10,420千円 (R4) (免許手数料納付多様化)
- 19,610千円 (R4) (ポストコロナDX推進)
- 1,658千円 (R4) (サイバーセキュリティ強化)

■ 担当部局

- 警務課、情報管理課、
- サイバー犯罪対策課、運転免許課

5. 事務局からのお知らせ

01 Teams「福井県×DX」推進チームの紹介

Teams上で、どなたでも参加できる「福井県×DX」推進チームを用意し、随時情報発信や情報交換を実施中
(現在、約800名の職員が登録するコミュニティ)

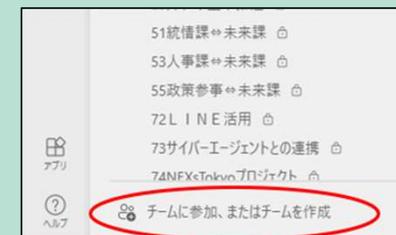
内容

- DX最新情報・他自治体取組みの共有
- スキルアップセミナー等の紹介
- RPAに関する質問相談
- デジタルツール活用の事例紹介
- 職員自らのDX取組の共有
「触ってみた・作ってみた（内製）」

等

参加方法

- Teamsの画面左下「チームに参加、またはチーム作成」を選択
- 画面右上「チームを検索」に「DX」と入力し、選択



DXと入力



參考資料

01 福井県DXの考え方

県 基本理念

「安心のふくい」を未来につなぎ、もっと挑戦！もっとおもしろく！

福井県DX 定義

県民本位の地域社会（生活・産業・行政）実現のため、
デジタル技術の特質を上手に活用の上、**県民目線**で、政策や実行の**仕組みを再設計**
(地域課題の解決や新たな価値創造につなげていく)

目指す将来像 (ビジョン)

地域社会・経済を活性化し、福井県の将来を持続可能に
～しあわせ先進モデル 活力人口100万人ふくい～

- 外に開いて人を呼び込む、都市部至近の豊かで安心安全な「くらしの先進地」
- 人口減に対応する生産性の高いスマートな社会
- 県民一人ひとりのアクションにDXを取り入れ、誰もが挑戦

行動規範 (DX推進の3本柱)

みずから変える みんなで変える ふくいを変える

政策 (福井県DXプログラム)

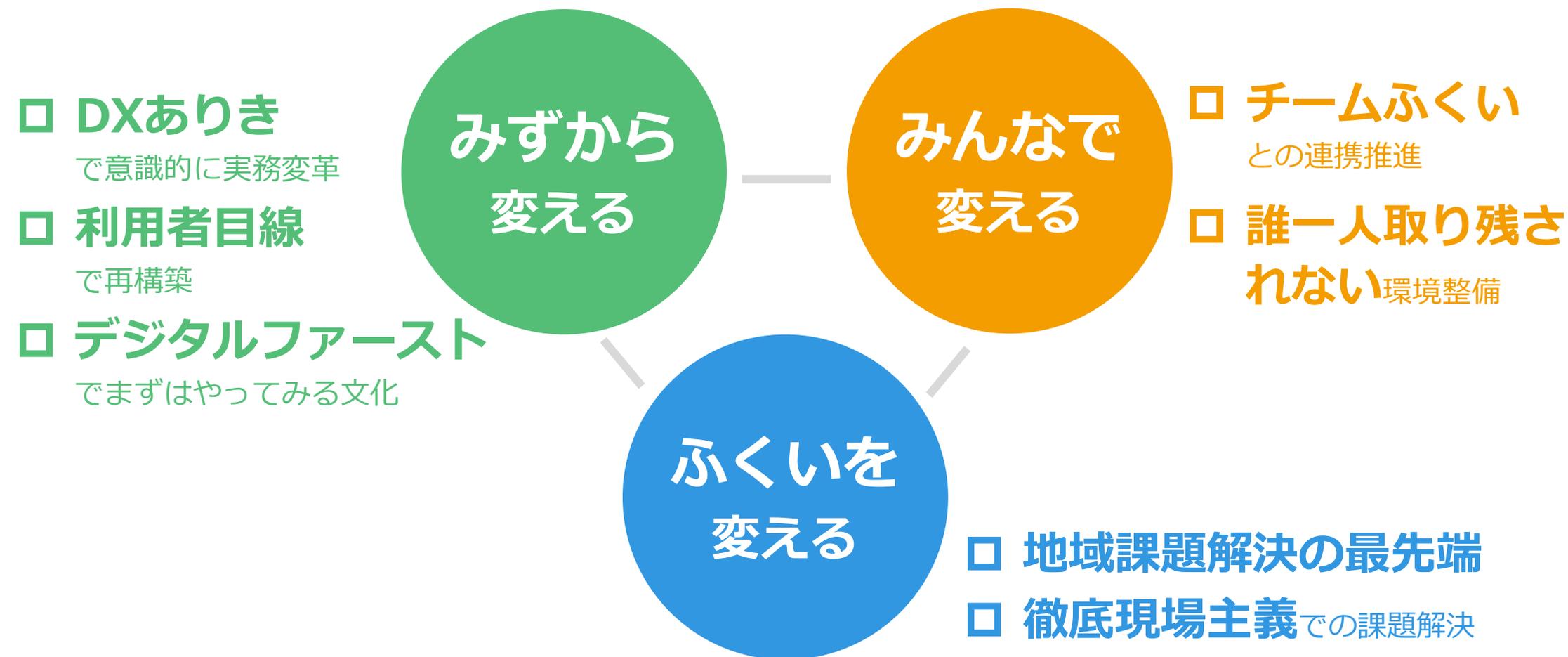
生活・産業・行政の3分野により、全庁を挙げた取組を整理
(DX事業の機動的な拡充に合わせ、プログラムを随時更新)

02 福井県DXのビジョン

即効性が高い手段



03 福井県DXの行動規範



04 福井県DXの合言葉

リアルな空間での取組を 「データ×AI×機械化」しよう

データ化

時間場所制約なく実務遂行
あらゆる状況やニーズ**可視化**

遠方の患者の容体を確認
県道の積雪状況を今すぐ把握

AI化

即時の**分析・予測**
パーソナライズした提案

理解レベルに応じた教材提供
関心興味に応じた観光商材開発

機械化

人手を介さず、
データや機械が**自動処理**

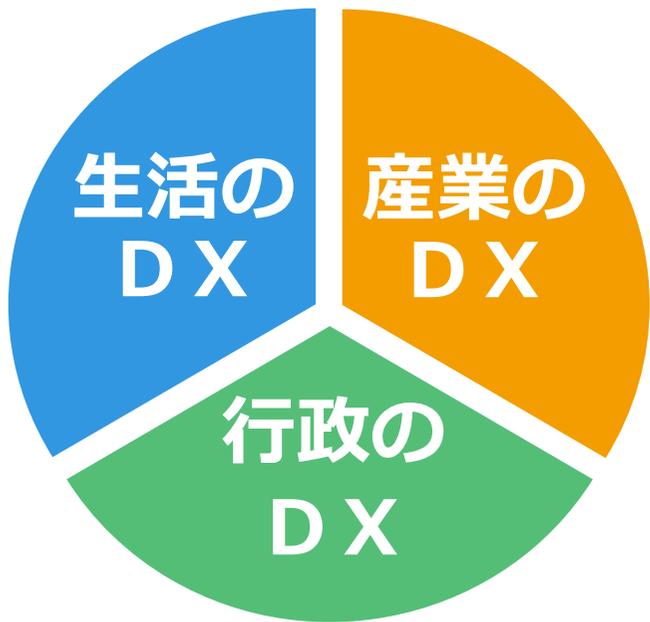
24時間365日の申請受付
リモートでの避難指示発出

05 福井県DXプログラム (Ver.2)

**推進の
考え方・方向性**

福井県DXの定義・ビジョン・行動規範
推進体制・今後の取組み方向性・具体的政策

+



生活

県民生活の質向上

産業

県内産業の
生産性向上・高付加価値化

行政

デジタル行政の実現

**令和4年度期首全68事業（前年度+21）
随時、機動的に見直し（アジャイル型）**